

**フィラリア症は
猫にも寄生する
可能性があります。**



猫のフィラリア症を調べる検査をご紹介します。

ELISA法によって成虫の有無を調べる検査

猫糸状虫抗原検査・抗体検査

なぜ猫もフィラリア検査をするのですか？

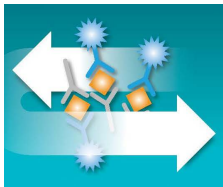
- 猫も犬と同じように犬糸状虫が寄生してフィラリア症を発症します。
犬と異なり成虫の生存年数が短く寄生数が少ない傾向がみられますが、
犬と比べて猫の心臓が小さいため寄生すると重篤化するとされています。
- 猫では、幼虫(未成熟虫)も発症にかかわっていることから、成虫抗原検査は
犬ほど確定的な検査ではありません。
このため身体検査所見、抗原検査・
抗体検査・X線検査および心エコー検査を
組み合わせて総合的に調べます。



血中のフィラリア幼虫(マイクロフィラリア)
イメージ図

どんな検査ですか？

- ELISA法を用いたフィラリア抗原検査は、数滴の血液から血中に含まれるフィラリア成虫に特有の抗原を検出します。微量の血液ですが高い検査精度で感染の有無を確認できます。
- 抗原抗体反応のゴールドスタンダードとされるELISA法は、専門の検査会社で用いられている検査方法で、検体の洗浄によりフリーの抗体等を洗い流して精度を高めます。



どんな病気ですか？

心臓に寄生虫が住みつくフィラリア症は、非常に恐ろしい病気です。

蚊が媒体するフィラリア症の発生率は低下しているものの

依然発生は認められています。

感染・発症してから慌てるのではなく、

定期的な検査・予防薬で大切な

ご家族をフィラリア症から守りましょう。

